

復興の風 肌で感じながら疾走



ツール・ド・東北
全国から4000人

東日本大震災の被災地を自転車で巡る復興支援イベント「ツール・ド・東北」が9月14日と15日の両日、石巻地方などで開かれました。全国から約4000人のライダーが集まり、震災から8年半が経過した県沿岸部などの復興状況を確認しながら、風光明媚なコースを力いっぱい駆け抜けました。各地に設けられた休憩拠点となるエイドステーション(AS)では、地元住民が復興支援への感謝を込めて自慢の料理を提供し、郷土芸能なども披露したほか、沿道でもライダーたちに熱い声援を送り、交流を深めました。



完走目指して力強くペダルをこぎだす



並んでゴールインし完走を喜び合う



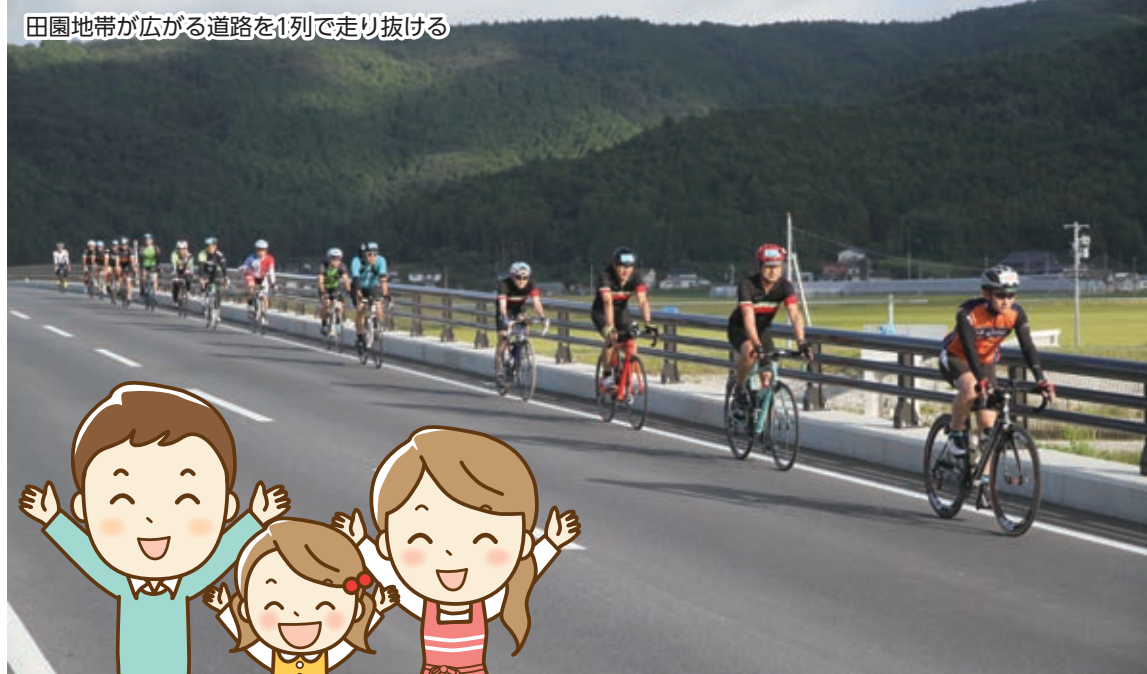
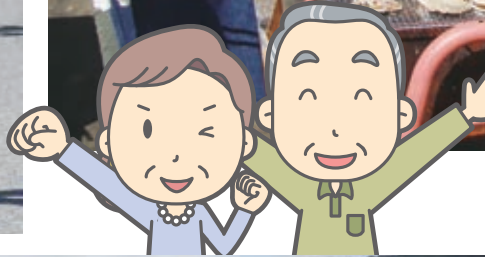
完走後、休憩スペースでくつろぐライダーたち



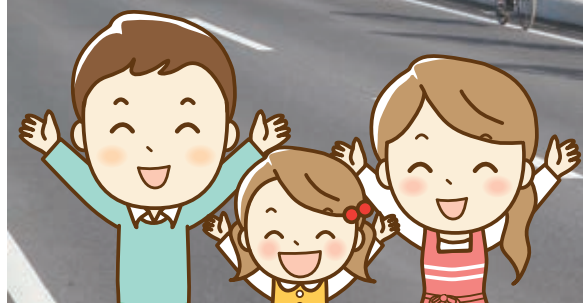
勾配のある登り坂を疾走するライダー



焼きホタテでライダーをもてなす雄勝ASのスタッフ



田園地帯が広がる道路を1列で走り抜ける



「応縁、フェス」を盛り上げた、いしのまき観光大使の萌江さん(中央)



図 観光課(内線3534)